

様式 3

随意契約理由書

担当課
行革財政課

契約内容	契約件名	財務会計システム更改業務			
	業務概要	財務会計システムの更改に関する設計，開発，ネットワーク設定作業，データセットアップ作業，職員研修，試行運用テスト，本稼働時立ち会い等			
	契約金額	金3,465,000円（消費税及び地方消費税を含む）			
	契約締結日	令和3年6月1日			
	契約期間	令和3年6月1日 ～ 令和4年3月31日			
	契約の相手	新潟県新潟市中央区米山2丁目5番地1 株式会社BSNアイネット			
根拠規定（地方自治法施行令第167条の2第1項各号）	1号 少額随契	工事又は製造の請負	130万円以下	財産の売払い	30万円以下
		財産の買入れ	80万円以下	物件の貸付け	30万円以下
		物件の借入	40万円以下	その他のもの	50万円以下
	2号 「その性質又は目的が競争入札に適さないもの」	不動産の買入れ又は借入れ、市が必要とする物品の製造、修理、加工又は納入に使用させるため必要な物品の売払いその他の契約でその性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき			
	3号 「障害者支援施設等により製作された物品を買入れる契約又は障害者支援施設等、シルバー人材センター若しくは母子父子福祉団体等からの役務の提供を受ける契約」				
	4号 「新規事業分野の開拓事業者により生産された新製品の買入れ等」	新たな事業分野の開拓事業者が新商品として生産する物品を買入れ若しくは借り入れるとき又は新たな事業分野の開拓事業者から新役務の提供を受けるとき			
	5号 緊急の必要により競争入札に付することができないとき				
	6号 競争入札に付することが不利と認められるとき				
	7号 時価に比して著しく有利な価格で契約を締結することができる見込みのあるとき				
	8号 競争入札に付し入札者がいないとき、又は再度の入札に付し落札者がいないとき				
9号 落札者が契約を締結しないとき					
随意契約理由					
<p>契約業者の選定にあたっては、本市において現在使用する財務会計システムを更新するとともに、新たに公会計や固定資産に係る機能を追加し、より効率的かつ効果的な運用を図ろうとするものであり、価格面だけでなく、業務実績や高度な専門知識を活用した業務提案についてヒアリングを行い、候補者を選定すべき案件であるため、公募型企画提案（プロポーザル）方式としたものである。</p> <p>その結果、株式会社BSNアイネットが本業務に最も適していると認められたため、この業者と契約を行う。</p> <p>価格については、現在の財務会計システムで使用しているデータを安全かつ確実に移行する経費並びに通信料及び保守作業経費等の合計であり、L G W A N - A S P方式によるシステムの提供を受けることで、庁舎内におけるサーバ管理やデータ管理経費の軽減を図った。</p>					

随意契約理由書

担 当 課
行革財政課

契約内容	契約件名	財務会計システムの利用に関する契約			
	業務概要	財務会計システムの利用に関する契約			
	契約金額	金13,794,000円（消費税及び地方消費税を含む）			
	契約締結日	令和4年3月1日			
	契約期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年9月30日			
	契約の相手	新潟県新潟市中央区米山2丁目5番地1 株式会社BSNアイネット			
根拠規定（地方自治法施行令第167条の2第1項各号）	1号 少額随契	工事又は製造の請負	130万円以下	財産の売払い	30万円以下
		財産の買入れ	80万円以下	物件の貸付け	30万円以下
		物件の借入	40万円以下	その他のもの	50万円以下
	2号 「その性質又は目的が競争入札に適さないもの」	不動産の買入れ又は借入れ、市が必要とする物品の製造、修理、加工又は納入に使用させるため必要な物品の売払いその他の契約でその性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき			
	3号 「障害者支援施設等により製作された物品を買入れる契約又は障害者支援施設等、シルバー人材センター若しくは母子父子福祉団体等からの役務の提供を受ける契約」				
	4号 「新規事業分野の開拓事業者により生産された新製品の買入れ等」	新たな事業分野の開拓事業者が新商品として生産する物品を買入れ若しくは借り入れるとき又は新たな事業分野の開拓事業者から新役務の提供を受けるとき			
	5号 緊急の必要により競争入札に付することができないとき				
	6号 競争入札に付することが不利と認められるとき				
	7号 時価に比して著しく有利な価格で契約を締結することができる見込みのあるとき				
	8号 競争入札に付し入札者がいないとき、又は再度の入札に付し落札者がいないとき				
9号 落札者が契約を締結しないとき					
随意契約理由					
<p>契約業者の選定にあたっては、本市において現在使用する財務会計システムを更新するとともに、新たに公会計や固定資産に係る機能を追加し、より効率的かつ効果的な運用を図ろうとするものであり、価格面だけでなく、業務実績や高度な専門知識を活用した業務提案についてヒアリングを行い、候補者を選定すべき案件であるため、公募型企画提案（プロポーザル）方式としたものである。</p> <p>その結果、株式会社BSNアイネットが本業務に最も適していると認められたため、この業者と契約を行う。</p> <p>価格については、現在の財務会計システムで使用しているデータを安全かつ確実に移行する経費並びに通信料及び保守作業経費等の合計であり、L G W A N - A S P方式によるシステムの提供を受けることで、庁舎内におけるサーバ管理やデータ管理経費の軽減を図った。</p>					